

# 玉川上水・野の花だより No. 1 4

オカトラノオ (*Lysimachia clethroides*) サクラソウ科

中央大学研究開発機構・機構教授 東京大学名誉教授

石川 幹子

2026年 6月2日

オカトラノオとは、「丘の上に咲く虎の尾のような花」という意味で、戦国時代の武将のような力強い名前です。北海道から九州まで、山地や草原の日当たりの良い場所にふつうにみられるもので、大都会の渋谷にお迎えすることができたことは、幸運と存じます。

草丈は、50~80cmくらいで、初夏に、直立した茎の頂部に、弓なりの弧をえがいた「総状花序」をつくり、白い小さな花を密につけます。花は写真にみられるように、下の方から順に穂先にかけて咲いていきます。つぼみと満開の花が同時にみられる不思議な野の花で、名前とは対照的な、可憐な白い花です。

湿地に咲くヌマトラノオ(沼虎の尾)、絶滅危惧種となっているノジトラノオ(野路虎の尾)も同じ仲間です。

群生して咲くことが多く、大山緑道で開花したことは、将来的には、すこし湿った場所で、群生する場所を見つけることも、いいのではないかと思います。

大都会の渋谷で、戦国武将のおもかげを彷彿とさせる白い海原のような風景が実現することも、一服の清涼な風を送り出すことになるかもしれません。



オカトラノオ 2026年5月31日撮影



オカトラノオ

2026年6月1日撮影

白い花が先端に向かって徐々に開花していることがわかります。